



2026年5月25日

各位

会社名 イノバセル株式会社  
代表者名 代表取締役 Co-CEO ノビック・コーリン  
代表取締役 Co-CEO シーガー・ジェイソン  
(コード番号：504A 東証グロース市場)  
問合せ先 取締役 CFO 細野 恭史  
(<https://innovacell.com/contact/>)

## 2026年12月期第1四半期進捗説明「ログミーFinance 書き起こし」公開のお知らせ

当社2026年12月期第1四半期進捗説明の「ログミーFinance 書き起こし」が公開されましたので、お知らせいたします。この記事は、5月20日に開示いたしました2026年12月期第1四半期進捗説明動画を書き起こして文字化したものです。動画と併せて、当社グループ事業の進捗状況に関する理解を深める際の参考としていただければ幸いです。当該記事については下記をご参照ください。

公開日 : 2026年5月22日  
書き起こし記事 URL : <https://finance.logmi.jp/articles/384991>

当社は、「ログミーFinance 書き起こし」記事の配信によって投資家のみなさまとの接点をこれまで以上に増やし、引き続き当社グループ事業をご理解いただく機会の拡充に努める所存です。

### ログミー株式会社 (Sansan 株式会社グループ) について

ログミーFinance は、「すべての人に IR を開放する」をミッションに掲げ、企業と投資家を繋ぐ IR テックイノベーターとして事業を展開しています。

決算説明会など IR イベントの内容を全文書き起こして公開し、IR とメディアの発信力を組み合わせることで、IR 活動の量と質を高めるサポートをしてきました。IR 活動における新たなアプローチ手法として利用企業が急増しており、掲載実績は1,500社を超えるファイナンスメディアになっております。

### イノバセル株式会社について (<https://innovacell.com/>)

当社の前身は欧州オーストリアのインスブルック医科大学からスピナウトした再生医療企業であり、当社はこのオーストリア企業の親会社として2021年に日本で設立されました。

当社グループは細胞治療・再生医療の事業化を通じた人々の健康と QOL の向上を目指しており、現在失禁（切迫性便失禁、漏出性便失禁、腹圧性尿失禁）を治療するための再生医療等製品の研究開発・事業化に取り組んでいます。

当社グループのパイプラインで開発が最も進んでいる ICEF15 は、患者さまご自身の細胞を活用し、その局所投与を通じた筋肉の修復・再生を図ることによって切迫性便失禁の根本治療を目指す製品です。現在当社グループは、ICEF15 について欧州 11 ヶ国及び日本で第Ⅲ相国際共同試験を実施中です。

当社グループは、これまでに欧州において ICEF15（ターゲット：切迫性便失禁）と ICES13（ターゲット：腹圧性尿失禁）の2つのパイプラインについて後期第 II 相試験を含む複数の臨床試験を完遂しています。

以上